

年間指導計画を見直す参考資料（小学校低学年 学級活動）

1 年間時数について

- 年間35時間（週1時間）の標準授業時間数を、年間10時間（隔週1回程度）以上とする。

2 年間時数の精選方法（例）

- 学習指導要領の「特別活動の目標」と自校の実態を踏まえ、重点的に指導する内容を精選する。その際、児童の発達段階や実態に合わせて、学級活動の内容(1)(2)(3)の3つの内容をバランスよく配置する。
- 内容の配置については、指導内容の関連を鑑み、複数の内容の統合を図ることも考えられる。
※例えば、(2)イ、(3)アを統合して、「小学〇年生になって」等の題材を設定する。
- 関連する行事（学校行事や児童会活動等）に合わせて学級活動の時間を設定する必要がある場合、一定期間にまとめて学級活動の時間を設定することも考えられる。
- 隔週程度としたことで余剰時間が生まれた場合には、学校の実態に合わせて、学級活動の充実に充てたり、他教科等の時間に充てたりすることが考えられる。
- 学級活動と道徳との関連については、道徳科で学んだことの実践の場として学級活動の時間を活用するといった「両輪の関係」であることから、時間割作成時に「学活/道徳」といった単位で設定し、学活と道徳を週替わりで行うことも考えられる。
- 時数としてカウントすることはできないが、事前や事後の活動として朝の会や帰りの会を活用し、清掃や給食当番の活動や係活動についての振り返り活動を取り入れるなどの工夫も考えられる。

3 発達の段階に即した指導の重点 ※学級活動(2)の例

＜参照：小学校学習指導要領解説 P79＞

- 入学時には、幼児期の教育との接続に注意して、重点化を図って指導する。
- 基本的な生活習慣が定着するよう、適切な題材を設定するとともに、計画的に指導する。
- 問題の解決方法について教え、正しい方法や自分に合った方法を選んで、目標をもって努力できるようにする。

4 年間指導計画の見直しの例 小学校第2学年

回	議題・題材	内容	活動内容・留意点 等
1	係を決めよう	(1)イ	・児童の希望を基に、係を決定する。
2	小学2年生になって	(2)イ (3)ア	・2年生の学習や生活を知り、希望をもって生活しようとする意欲をもつ。 ・2年生における具体的なめあてを立てる。
3	雨の日のすごし方について考えよう	(1)ア	・仲良く楽しく安全に雨の日を過ごすことの大切さについて知り、今後の雨の日の遊び方やルールについて考える。
4	安全な道路の歩き方をおぼえよう	(2)ウ	・道路の横断の仕方等、安全な道路の歩き方を知り、これからの生活に生かすことを考える。
5	お楽しみ会をしよう	(1)ア	・お楽しみ会でどんなことをするのかについて話し合い、内容や方法を決める。 ※スポーツやゲーム等他、特技発表など、自分のよさを発揮したり、友達のよさを認め合ったりする活動を取り入れる。
6	おそうじだいすき	(3)イ	・掃除のよさについて知り、掃除を上手にできるようにするために頑張ることを決める。
7	ふわふわ言葉とちくちく言葉	(2)イ	・自分が言われて嫌な言葉や嬉しい言葉について話し合い、友達と仲良くするために何をどのように頑張るのかを決める。
8	歯みがきの大切さ	(2)エ	・正しい歯みがきの仕方について知り、今後の歯みがきについて、自分のめあてを立てる。
9	2年生がんばったね会をしよう	(1)ア	・会でどんなことをするのかについて話し合い、内容や方法を決める。 ※自分や学級の成長に気付くような発表を伴う集会が考えられる。
10	もうすぐ3年生	(3)ア	・3年生に向けて頑張りたいことについて話し合い、今後の生活に向けた具体的なめあてを立てる。